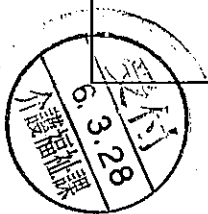


タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況			コメント	外部評価 コメント		
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い				
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>										
<b>(1) 理念の明確化</b>										
①	サービスの 特徴を踏まえた理念の 明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	12	13		「10の基本ケア」という理念を掲げ、常に意識して行っている。			
<b>(2) 適切な人材の育成</b>										
①	専門技術の 向上のための 取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	10	15		職員同士で常に確認し合い、理解を深めている。			
				3	9	13			3	研修の機会が用意されている。
				4	8	17				
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるための 機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	14	10	1	毎朝ホワイトボード(現場会議録)や連絡ツール(Slack)を活用し、利用者の変化を確認している。			
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	12	11	2	2人体制ケア等、状況に応じて対応してもらっている。効率良い回り方でシフトを組んでくれている。			



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況			コメント	外部評価 コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い		
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	9	13	3		
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>								
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	14	11		利用者の変化や支援の際の気づきをホワイトボードに書き共有している。在宅生活の継続や改善に向けて工夫をしている。スマートフォンをアプリを利用して、迅速に共有できている。個人情報にも配慮し、フルネーム等は記入されていない。	
<b>(5) 安全管理の徹底</b>								
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	9	13	3	施設全体としての火災・地震等の避難訓練実施しているが、定期巡回だけではやった事がないように思う。マニュアルがあれば配布してほしい。一人暮らしや寝たきりの利用者への対策が必要。	災害時に備えて備蓄品がどこにどれだけあるのかわからないのが現状。職員の安否確認が取れるツールがあるのは良いと思う。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられており、管理者や職員において共有されている	13	12		全体会議で学ぶ機会もあり、取り扱いには十分注意している。個人情報が入ったファイル類は鍵のかかる棚で保管されている。	
<b>II 過程評価 (Process)</b>								
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>								

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	実施状況				コメント	外部評価 コメント
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	8	14	3		定期的にケア会議が開かれ、利用者の変化に対応でき、1日を通してのアセスメントが考えられている。	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	10	14	1		アセスメントはいつでも閲覧して確認することができる。スマートフォンでの共有や朝礼で毎日共有できている。	
		13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	10	13	2		訪問に行った際の利用者の様子は記録に残し、今後についての話し合いも行われている。自立支援、生活リハビリを基本としてご家族の意向を聞きつつ可能な限りの計画が作成されている。	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	7	13	5		様々な職種間で話し合いが行われ、利用者をサポートしている。	
		15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	16	9			利用者の状況の変化が見つかれば、すぐに職員で話し合い対応を決めている。テレビ電話や変化に応じて臨機対応しているが、人員が足りずスタッフにかなり無理をかけている場面もある。	
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	16	9			利用者の状況の変化が見つかれば、すぐに職員で話し合い対応を決めている。テレビ電話や変化に応じて臨機対応しているが、人員が足りずスタッフにかなり無理をかけている場面もある。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	12	11	2		ケア会議を行うなど柔軟な支援を行っている。定期的かつ、必要に応じてモニタリングが出来ている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価			コメント	外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い		
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>								
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	15	10		意見を共有できている。食事・排泄・入浴等の生活面は介護職が、薬管理・傷処置等は看護師が担当し連携できている。	
		18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	17	8		看護職と介護職の話し合いは頻繁に行われ、信頼関係が出来ている。朝礼等で看護職から都度アドバイスをもたらっており、月1回の会議を利用し資料配布や指導助言も行われている。	
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>								
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスの「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている					
		20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	8	17			
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービスの提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	9	16		利用者が不安に感じていることがあれば、十分な説明をする努力をしているが、実際のケア以上のことを期待しておられる方が多い。 利用者に変化があれば家族にすぐ連絡して、利用者の状況を共有している。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが多い	全くで きてい ない	
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>								
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>								
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	11	11	3		利用者に変化があれば、ケアマネジャーとすぐに連絡を取り、話し合いをしているが、身体状況や環境について伝えても反映されないことも多い。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォール・インフォールサービスの活用等を含む）が行われている	9	14	3		
		24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	9	15	1		定期的に行っている。
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>								
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）	5	17	1		定期的なサービス担当者会議を行っている。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）	7	15	1		利用者が入院中も、ケアマネと連絡を取る等して退院しても利用者が困らないように努めている。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②		27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）	8	12	2			(歯科医師より)寝たきりでも口腔ケアが行えるように指導可能。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	7	14	4		記録はいつでも閲覧でき、口頭での情報伝達も積極的に行われている。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	6	14	5		定期的に学習会を開くなどしている。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	4	15	6			今後の大きな課題であり、職種関係なく1つの事業所だけの問題ではないと思う。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	9	16			可能な限りは広げていると思います。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない	
③	安心して暮らせるまちづくりに 向けた、積極的な課題提起、改 善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知 見、多様な関係者とのネットワーク等を活用 し、介護・看護の観点から、まちづくりに係 る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に 応じて具体的な課題提起、改善策の提案等 (保険外サービスやイソノオーナーサービス の開発・活用等) が行われている (※任意評 価項目)	4	15	2		
<b>III 結果評価 (Outcome)</b>								
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計 画目標の達成が図られている	9	16			在宅での暮らしや体調など改 善されている方が多いと思っ ます。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等におい て、在宅生活の継続に対する安心感が得 られている	9	16			利用者が安心して在宅できるよう に最善の環境が続くように努力し ている。「あなた達が来てくれる から生活出来ている」と仰ってい ただけることが良くあります。